



初夏の昆虫たち



オス



アオモンイトトンボの幼虫



幼虫



幼虫



メス

アオモンイトトンボ オスとメス

イトトンボの仲間によく見かけるのは「アオモンイトトンボ」と「クロイトトンボ」。ため池や田んぼ、小川などで水面の上をスイスイ飛んだり草に止まったりしています。

イトトンボの仲間の幼虫は、お腹の先に「尾鰭（びさい）」というエラがついていてそこで息をしますが、お腹の中にもエラがあるので尾鰭が取れても平気です（笑）尾鰭は泳ぐときにヒラヒラと動かして推進力を生み出すこともできます。



オス

メス

クロイトトンボのオスとメス



クロイトトンボの幼虫



成虫

ニシキリギリス



成虫

トノサマバッタ

バッタやキリギリスの仲間は、初夏に孵化する種類が多く、今の時期に草むらを行くと幼虫たちが飛び出してきます。やわらかい体をしているので優しく手に乗せて観察しましょう♪

種類にもよりますが、キリギリスの仲間はニンジンや煮干しなどを、バッタの仲間はエノコログサなどイネ科植物の葉を好んで食べます。

文と写真：武智礼央



森のちいさなおはなし

キャベツチョウ ～モンシロチョウ～

お隣のお兄ちゃんのみーくんは、庭のちっちゃなスペースを畑にして、キャベツを育てている。でも、春先に植えた苗は虫食いだらけで、よく見ると青虫が何匹もついてた！青虫はきれいな緑色。モンシロチョウの幼虫だって。初めは苗にネットをかぶせていたけれど、どうしてもチョウが潜り込んで卵を産んじゃうのだった。キャベツの葉っぱのにおいがわかるらしい。「モンシロチョウは英語でキャベツチョウ (cabbage butterfly) って言うのさ」と、ちょっと得意げなみーくん。これはキャベツじゃなくて、チョウを育てているんだな。



この前の日曜日に、みーくんはホームセンターでミニトマトとキュウリの苗を買ってきた。それから小さなサンショウの木も。サンショウ？少し前にも、買ってきてたような。「アゲハチョウの幼虫がいっぱいて、エサが足りなくなりそうなんだよ…」と言い訳をするみーくん。ほらほら、と言って、かっこいいアゲハの幼虫を見せてくれる。チョウが大好きな、お隣のみーくん、のことが好きな、ぼく。

文と切り絵：山口すみれ

とことこの合い言葉
センス・オブ・ワンダー

「センス・オブ・ワンダー」とは「神秘さや不思議さに目をみはる感性」のこと。誰もが持つ「豊かな心でいられる魔法？」です。「沈黙の春」を書いたレイチェル・カーソン氏の言葉であり、著書のタイトルでもあります。



東温市小さな子どものおさんぽ会
主催：東温市環境保全課新エネ推進係
協力：NPO 法人 自然環境教育えことのは